

にできる医者になるのが夢です。私は二度川崎病になり、とてもつらくて、苦しんで、悲しくて、寂しかったことを覚えています。その私が今こうして楽しく過ごしているのは、その時、私を励まし、そばにいてくれた医者先生と看護師さんのおかげです。

その時から、私は医者に

臨床心理士 西尾 温文 59
(東京都練馬区)

大切な人を失った悲しみを癒やすことをグリーフケアという。私たちは大切な人、身近な人をなくした子ども、保護者のためのグリーフケアを四月から始めた。

子どもたちのグリーフケアを始めたきっかけは、三年前にその必要性を痛感したからだ。それは、ある母親から、がんの治療で髪が抜けるが小学生の子どもに病気をどう伝えたらいいかという相談を受けた。父親とも相談している間に病状が悪化、子どもに、お母さんはがんなんだよ、もう時間があ

安倍晋三首相はなぜこれほど前のめりになるのか。集団的自衛権の行使容認である。世論はもろろんや党内の異論にすら耳を傾げようとしていない。結論ありきで議論を急ぐのは、あまりにも乱暴だ。

集団的自衛権

首相はきのう、安全保障法制に関する与党協議会の座長を務める高村正彦自民党副総裁に「今国会

ほめに水分を



私の「インフォ」 矢部 尊
(神奈川県藤沢市)

遺児にはケアが必要

まりないんだ、お母さんの時間を大切にしようねと父親が子どもに伝えることになる。

母親は一週間後に亡くなり、家族は医師に経過説明を聞きに行くが、その子は病室で母のそばにつきっきりだった。その後、その子は学校が休みの土曜日に私の遺族相談に一年間やってくる。私は子どもの遺族カウンセリングを初めて行い、多くのことを学んだ。

病院は、患者を治療し最後まで診るが、患者が亡くなると遺族への関心はあまり持たない。遺族の

悲しみ、つらさは自分で解決するものとされている。

一体、遺された子どもはどうなるのだろうか。自分で悲しみやつらさを解決しているのだろうか。病死以外にも事故、災害、自死で親やきょうだいを失う多くの子どもがいます。

子どもたちには、同じような体験をした仲間と安心して遊び、語り合つことのできる場が必要だ。私たちが始めたグリーフケアは東京都小金井市の「エッグ・ツリー・ハウス」という。問い合わせはメールアドレス(egg.tree.house@gmail.com)まで。

日本担う世代 憲法を語ろう

高校生 伊集院 照 15
(東京都練馬区)

憲法改正手続きで国民投票ができる年齢を十八歳に引き下げる法案が成立する見通しだ。私は選挙権を十八歳からにすることも賛

成だが、これらの実施にあたっては懸念もある。それは、若い世代が政治に関する知識、興味をあまりに持たないということだ。

確かに失われた二十二年に生まれた僕たちの世代は、政治に希望を持っていないかもしれない。しかし、次の日本を担う世代として、政治に関心を持つべきだ。特に

最近、安倍政権主導で集団的自衛権の行使容認や憲法改正の提案が行われている。今後の日本の方向性に大きく関わる問題で、もし戦争にでもなれば出兵するのはわれわれの世代だ。

護憲か改憲かの議論だけでなく、個々の条文にも関心を持ち議論できるように空気になることを願う。

骨付き魚を食べ 伝統食を学ぶ

中学生 三宅 美希 15
(東京都文京区)

和食がユネスコの無形文化遺産に登録された。学校給食でも煮魚や焼き魚といった日本の伝統食を食べよう、骨付き魚を普及させよう、骨付き魚を食べてほしい、という声が増えてきている。

私は、うまく骨を取ることでできないので焼き魚を食べるのが苦手だ。特に、小骨の多いサンマなどは諦

学校は学びの場だ。給食で骨付き魚を食べると、これは、日本の伝統食について学べるという点でとても良いことだと思つ。やはり日本人として、日本の伝統食を上手に食べ、伝え広

私に 温暖化 高校生 (東京都)

子どもの水難

どうすれば子どもたちを守れるか。今夏も、岐阜県、愛知県、曾川で小中学生三人が死亡する事故が起きてしまった。川に溺れるのは怖い。しかし、楽しさとともに水の怖さもよく知らせてい

年、水難による死者・不明者七百八十八百九十九人、学生以下は年間五千四百一十一人、七十歳。子どもたちの荷物が増える。特徴は、水難事故全体が、水難事故全体の